

自己評価報告書

平成23年 5月 2日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2008～2011

課題番号：20520564

研究課題名(和文) 萩原寺聖教の調査にもとづく中世地方寺院の宗教活動に関する研究

研究課題名(英文) Research on religious activity of local buddhist temple in the Middle Ages based on investigation of Hagiwara-ji-Syogyo

研究代表者

厚谷 和雄(ATSUYA KAZUO)

東京大学・史料編纂所・准教授

研究者番号：80143535

研究分野：日本史

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：日本史、中世史、聖教、密教、真言宗、地方寺院

1. 研究計画の概要

香川県観音寺にある真言宗の古刹巨龍山地蔵院萩原寺は、平安時代の創建になり、南方に位置する香川・徳島県境の山岳寺院・雲辺寺の里坊として発展した。江戸時代には四国有数の有力寺院であった。南北朝時代以前について、具体的な様相を知ることは困難だが、宝徳元年(1449)に示寂した中興・真恵の時期からは、守護細川氏の帰依も得て、寺勢を伸張したことが確かめられる。

真恵は、高野山で修学し、聖教の蒐集にとめるとともに、醍醐寺遍智院成賢から分流した六方の法流を遍智院宮聖尊が束ねた六方大事(六方憲深方)と称される小野流の一流をはじめ、野沢両流に及ぶ東密の諸流を伝えた。そのため、萩原寺(地蔵院)は、西讃・東予における真言密教の一大拠点として重要な役割を果たすことになった。その後も室町期の歴代住持によって聖教が蓄積され、現在も同寺には、断簡を含めて5000点以上の聖教が伝来している。平安時代のものこそ7点に過ぎないが、16世紀以前の聖教が約8割を占めており、地方寺院に伝来する中世聖教としては屈指のものだといえる。

本研究では、この萩原寺聖教の調査を進め、全容を提示するとともに、その成果にもとづき、中世の地方寺院における宗教活動の様相を明らかにすることを目的とする。

2. 研究の進捗状況

(1) 各年度において、2回ずつ、5日間程度、地蔵院萩原寺に出張して、聖教の調査を実施した。聖教について調書の採取を進めるとともに、年代順に整理しながらデジタルカメラによる高精細な撮影を行った。調書の採取については、江戸時代までの聖教について、

ひととおり完了することができた。デジタル撮影については、南北朝時代までの聖教類についての全点の撮影を終えている。

(2) 調査時に採取した調書データをPC上のデータベースソフトに入力してデータ化をはかるとともに、その確認・校正をおこないつつ、同寺聖教の再整理作業を行った。調書については、全点の入力を完了した。再整理作業については、室町時代中期までの聖教について、ひとまず終了した。

(3) 聖教を撮影した画像と調書データの双方を確認しながら、南北朝時代までの詳細な目録の原稿を作成した。さらに、鎌倉時代前期までの聖教については、原本に就いて校正を行った。

(4) 萩原寺の中興開山である真恵について史料の発掘につとめ、真恵置文写(大覚寺所蔵聖教)や萩原寺地蔵院衆分引付(萩原寺文書)などの重要な新出史料を見いだした。これらと調査対象の聖教とをあわせて分析することで、当該期の萩原寺の宗教活動の様相を具体的に明らかにすることが可能になった。すなわち、寺伝にいうような、讃岐・伊予・阿波三カ国に及ぶ地方における教学上の拠点寺院としての活動が、真恵による聖教の集積に依拠したものであったことが明確になったといえる。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

既に、調書の採取を完了し、南北朝時代までの聖教類の撮影を終了している。また、調書の入力・校正を終え、再整理作業も室町中期まで進捗させるとともに、南北朝期までの聖教類目録の原稿を作成している。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 23年度も萩原寺への出張調査を実施し、目録原稿の原本校正を行うとともに、室町時代中期までの聖教の撮影を進める。

(2) 室町時代前期までの聖教について目録化を進めるとともに、原本校正を終えた南北朝時代までの聖教目録については、報告書を作成し、そこに掲載する。

(3) 入力済みデータの中から僧名・寺院名等を抽出して作成したメタデータ・データベースの充実をはかるとともに、同寺中興開山である真恵の年譜を作成し、報告書に掲載する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計2件)

①末柄 豊、畠山義総と三条西実隆・公条父子—紙背文書から探る—、加能史料研究、査読無し、22号、2010年、1～27頁

②末柄 豊、『不問物語』をめぐって、年報三田中世史研究、査読なし、15号、2008年、1～37頁

〔図書〕(計3件)

①末柄 豊 9番目(共著)、笠間書院、細川幽斎一戦塵の中の学芸、2010年、171～188頁

②厚谷和雄 1番目・末柄 豊 6番目(共編著)、八木書店、東京大学史料編纂所影印叢書 平安鎌倉古文書集、2009年、全332頁

③末柄 豊 7番目(共著)、慶応義塾大学文学部、古文書の諸相、2008年、113～143頁